

国際ロータリー第2580地区
石垣ロータリークラブ週報

2025年(令和7年) 6月 18日(水) 第38回例会(通算3055回)



2024-25年度RI会長テーマ
RI会長:ステファニー・アーチック

2024-25年度 ◆クラブ会長テーマ◆
「親睦と友愛の絆で広げる奉仕」

会長:宮城早人 副会長:今西敦之

幹事:新里裕樹 直前会長:前原博一

副幹事:木下省三 会場監督(SAA)委員長:黒島勝

◎ロータリー親睦活動月間

今月のロータリーレート 1\$¥144

石川 彌八郎 地区ガバナー

テーマ:隔たりを取り除き、“ご縁”を大切に

5/21-25 台湾姉妹RC・友好RC訪問



6/10 石垣RC・宮古島RC合同例会



6月のプログラム 6/18(水)入会式並びに台湾姉妹友好クラブ訪問の旅報告会 6/26(木)納会(夜間例会)

例会日 水曜日 12:30~13:30
事務局 〒907-0013 石垣市浜崎町 1-1-4
URL <http://ishigaki-rotary.jimdo.com>

例会場 アートホテル石垣島(0980)83-3311
TEL/FAX(0980)83-2917
E-mail ishirotary@ninus.ocn.ne.jp

◇総会員数：55名（正会員53名・名誉会員2名・出席免除会員2名）

◇出席義務会員数：51名 ◇出席人数：25名 欠席人数：26名 出席率：49.01

《司会進行：木下 省三》

◇ロータリーソング：君が代 ロータリアンの行動規範 ◇メークアップ：吉田貴紀 新賢次 佐久本達

【第12回理事会】1) 入会推薦書（高橋大介氏・小西貴之氏）について：承認

2) 仮決算書について：承認 3) 6月のプログラムについて：承認

◆ 会長挨拶 ◆
宮城 早人



皆さんこんにちは。今日はまずもって竹内様、田中様、平野様、高山様、そして新入会員の新城貢様、こちらにお越しいただきありがとうございます。どうぞ石垣ロータリークラブを楽しんでいってください。また竹内様は後ほど卓話行っていただきます。本当ありがとうございます。それから大野様も、わざわざありがとうございます。いつもありがとうございます。はい、それで、去った5月21日から24日ないし25日に実施した台湾友好姉妹クラブ訪問の旅には、当クラブ会員10名、そしてご婦人2名の総計12名で行ってまいりました。大成功のうちに相済ませることができました。

5月22日は早朝より世界第18位の規模を有する台湾南部高雄港で豪華客船に乗船させていただき、2時間近く周回、周遊させていただきました。当クラブ会員の新川正人職業奉仕委員長の所属の琉球海運さんのバースの見学もさせていただきました。青天に恵まれ、見るものすべて圧巻のパノラミックな高雄港に感激しました。また、同日、当クラブと34年友好関係を結んでいる台東ロータリークラブとの夜間合同例会、そしてまた台東市役所にも訪問させていただき、皆様のお出迎え等々、すべてに温かいお出迎えが、おもてなしをいただいたことに感動しました。翌日は台北に移動して、10年以上ご交誼の続いている台北大同ロータリークラブとの合同例会・懇親会、そして職場訪問は菓子工場とビール工場視察させていただき、これまた大変感激しました。今回の台湾旅行にご参加いただきました皆様、私、新里裕樹幹事、新川正人職業奉仕委員長、大田次男プログラム委員長、吉田貴紀国際奉仕委員長、大浜勇人パスト会長、橋本孝来パスト会長、大濱達也パスト会長、大浜一郎パスト会長、西表晋作委員、そして大濱琴美様、大浜のみ子様両令夫人に心より感謝を申し上げます。

今回の旅行については、企画から全て新川正人委員長に大変お世話になり、2月の事前訪問にもお付き合いいただいた上で、この度の企画、琉球海運さんに、大変深く

感謝を申し上げます。この場を借りて。新川さん本当にありがとうございました。皆様拍手をいただいて宜しいでしょうか。この内

容につきましては、6月18日の例会で、皆様に色々スライド等、ビデオ等もお見せしながらですね、報告させていただきます。また、去った5月28日には宜野湾ロータリークラブさんとの合同例会、懇親会、そして29日には観光についても皆様にご協力いただきました。これまた空港の迎えから送りまで全行程に新川さんに、またずっとお付き合いいただいたこと感謝しております。他の皆さん、本当にありがとうございます。宜野湾クラブさんにも大変ご交誼が果たせたものだという風に思っております。

さて、いよいよ2024年～25年の年の最後、6月を迎え、先ほどは年度納めの最終の第12回目の理事会も滞りなく済ませることができました。今年度の例外も今日含め4回ということになります。船の就航に例えると、去年7月に出港し、一年近くたち船も石垣島近辺まで来てはいますし、島影も見えてはいますけれども、一旦宮古に立ち寄って、それから戻ってきたあと残り3回例会ということになります。このような形で、最後はフィナーレを飾るべく、皆さんと色々楽しい夜間例会を行いたいと思いますので、どうぞ宜しくお願い致します。

今日は例会プログラムが時間が少なく押しているということで、先ほども申しましたように、竹内様は八重山ダイビング協会の会長であられますけれども、この石垣の海は、世界的にも有数のダイビングスポットとして有名であります。この豊かな資源を守り、見届け、そして観光客にもお届けしている大変素晴らしいお仕事をされている竹内様に、石垣島のダイビングの魅力等々について卓話を行っていただきますので、どうぞよろしく願いいたします。それから今日は、東バス運輸株式会社の社長様であられる新城貢さんが入会ということです。実は小学校の同級生で親友です。友人が入会していただけることを大変楽しみにしておりました。今日は厳かに、また後ほど入会式を行いたいと思います。どうぞよろしく願いします。それでは、親睦と友愛の絆で広げる奉仕のスローガンのもと、今日も楽しい例会にしていきたいと思います。ありがとうございました。

◆ 幹事報告：新里 裕樹 ◆

皆様こんにちは。本日11時半より理事会が開催されました。議題が3つ、入会推薦書について、仮決済について、

プログラムについての承認がございました。

1).推薦書については、小西貴之さん 49 歳、飲食業の方、そして高橋大輔さん 47 歳でデジタルマーケティングの方、お二人の推薦の承認をいたしました。会員から、異議申し立てがなければ、我々の仲間として加わって来月から一緒に活動していくという流れになりますので、皆さん、また情報が上がってきた際にはしっかりと確認してください。

2).仮決算も承認いただきました。

3).6 月プログラムについて:

6 月 10 日(火)19 時から宮古島 RC さんとの合同例会がございませう。私は入会して今月でちょうど 3 年目となりますが、その前から長い長い交流があるとお伺いしております。ぜひ多くの会員の皆様で行ってこの交流の深さをもっと広げられたらと思ひますので、ご参加のほどよろしくお願ひします。この後、回覧板を回しますので、出席可能の方はご記入のほどよろしくお願ひします。

6 月 20 日(水)竹富小中学校「指田文庫」へ図書カード 5 万円分の贈呈式がございませう。こちらも多くメンバーで行けたらと思ひます。6 月 20 日(金)15 時発の船で行きますので、ご予約のほどよろしくお願ひします。

6 月 18 日(水)は通常例会で台湾訪問の旅報告会となっております。

6 月 26(木)は最終例会となっております。通常水曜日ですが、夜間の例会で会場が抑えられなかったということで、6 月 26 日(木)18 時半からこちらのアートホテルで 1 年の締めくくりをしたいと思います。皆様、どうかご都合をつけていただけたらと思ひますので、宜しくお願ひ致します。最後にテーブルにお菓子が置いてあります。クンペンとブラックサンダーは前回合同例会を行いました宜野湾 RC さんからのお土産となっております。そして、パイナップルケーキは台湾訪問の際の宮城会長からのお土産となっておりますので、皆様お召し上がりください。本日もよろしくお願ひします。

◆ 会員・委員会からの報告 ◆

大浜勇人クラブ研修委員長:皆さん、こんにちは。今日は例会がタイトなので、簡単にロータリーの友の紹介させていただきます。ロータリーの三大義務は、【例会に出席の義務】・会費を納入する義務【そしてこの【ロータリーの友を読む義務】がございませう。

本日は確認する時間はあまりなかったのですが、44 ページ~46 ページにかけて掲載されています、日本のロータリアンは現在 82,877 人、クラブ数は 2,194 クラブと、現状を細かく書かれております。また、世界中のロータリアン、日本中のロータリアンの活動報告が書かれております。本日は、最終理事会でございまして最後にクラブ研修委員長としてご紹介をさせていただきます。1 年間ありがとうございました。

◆ 新入会員 挨拶 ◆

新城貢会員:昨年の 11 月 29 日、東運輸株式会社の定時株主総会において、第 6 代目代表取締役社長に就任いたしました新城貢と申します。ロータリークラブとは何なのかはまだよく分からないですが、奉仕の心で当面の間は、年間 60%以上の出席を目指して頑張ってまいりますので、皆様のご指導よろしくお願ひいたします。

◆ ゲスト卓話:竹内 友哉 氏 ◆ (Diving Service megloop)

テーマ:石垣島の他の海とは違ひ魅力

皆様こんにちは。この度は、このような場にお招きいただき、誠にありがとうございます。

今日は、石垣島の海に関するお話をさせていただこうと思ひます。宜しくお願ひ致します。このような場で、皆様にお話したいことは凄く沢山あったのですが、持ち時間があまりない 30 分ぐらいたということ、かなりの絞ったのお話になってしまひますが、聞いていただければ幸いです。

今日のテーマの石垣の海は、私がダイビングサービスを営んでいるため、普段から仕事場として使わせていただひいますけれども、本当に魅力のある海だと未だに実感しているところであります。

ちなみにですが、今日参加されている方の中で、ダイビングしたことあるよとか、普段から潜っているよっていう方、どのぐらいいらっしゃるか、ちょっと挙手していただけますか。ありがとうございます。1 人か 2 人ぐらいいかなと思ひましたが、思っただ以上に多くて嬉しいでせう。ただ、半数以上の方は、潜られていないということ、この機会にぜひご検討していただけたら嬉しいなと思ひています。

沖縄本島をはじめ、慶良間諸島、それから宮古島、あと我々が住む八重山諸島などで、魅力あるダイビングスポットがとても多く存在していますが、そんな中でも石垣島を含む八重山の海というのは非常に人気の高いエリアになっています。

ちなみに、私のお店で利用されるお客様には、リピーターさんがとても多くて、月に 1 度ぐらいいのペースで来られる方、珍しくないでせう。そんなお客様のなかでも、もう他の海で潜らないからダイビング機材をお店に預けておくわという方も結構いらっしゃるぐらいい、かなり魅力があるというふうには思ひています。その魅力ある石垣島の海ですけれども、一体何が凄ひなのか、例えばお隣の宮古島とはどのような違ひがあるのか、その辺りを本日はお話をさせていただきたいと思ひています。

その前に、簡単に自己紹介させていただきます。

竹内友哉と申します。14 歳の時に北海道でダイビングのライセンスを取得しまして、19 歳の時に、ダイビングの仕事をするために石垣島にやってきました。

仕事を続けながら、他のエリアの沖縄以外とか、海外の海っていうのも興味はありましたが、同じ海で潜り続けて、この海を極めたいという思いが当時から強くありましたので、浮気することなく 25 年間八重山の海で泳ぎ続けています。現在はいろんな縁がありまして、八重山ダイビング協会の会長を務めさせていただいております。その八重山ダイビング協会では何しているのかと言いますと、現在、石垣島と与那国の方で 83 のショップが加盟している団体になります。様々な誘客活動や安全対策をメインに活動しています。定期的に行っているビーチクリーンとか水中清掃など環境保護にも力を入れています。誘客活動に関しては、近年では PR 動画を作成して SNS を活用した活動なども行っていますが、実際に島外に足を運んで石垣島の海を PR するという活動も行っておりまして、毎年東京で行われているマリンダイビングフェアという大きなイベントがあります。そこに出席するということはかなり前から継続させていただいています。

そのイベントの中で、様々な授賞式が行われますが、ベストダイビングエリア賞というのがあります。投票期間が 1 年間で、日本国内のダイビングエリアの中から、1 番好きなエリアを投票して、ランク付けするという内容になっていますが、石垣島は今年も 1 位に輝きました。

なんと **25 年連続 1 位** という快挙を成し遂げております。

慶良間とか宮古島などのエリアを抑え続けている。

この結果は、本当に凄いことなんですね。何故これほど石垣島がダイバーから人気があるのか。

潜る回数が多い上級者の方とか、水中カメラマンさんなんかは、国外も含めていろんな海で潜られているんですけども、そんな人たちに聞いてみると、皆さん口を揃えてやっぱり石垣島はいいよねとよく言われます。その理由を聞くといろんな返答をいただきますが、その中で代表的なものを紹介させていただきます。

【石垣島、八重山の魅力】この飽きのこない様々なバリエーション、これがもう一番に挙げられます。どういうことかという、写真の通り色々な環境が石垣島近辺の海には揃っています。まず珊瑚です。珊瑚に関しては、近年だと夏の高水温だとか、土の流出だとか、珊瑚を食べてしまうオニヒトデというものの影響で死滅してしまうこともありますけれども、減ってはまた増えて、また減っては増えてと、長い年月に繋げて繰り返している状態です。

現在も足の踏み場がないほど、珊瑚に覆われた場所も多く存在しています。

また、その種類もとても多くて、八重山では 400 種類以上の珊瑚が今のところ見つかっています。

隣の写真は真っ白い砂地です。意外と沖縄のダイビングポイントでは真っ白い砂地のポイントは少ないみたいです。石垣島にはもちろんありますし、八重山の中でも綺麗な砂

地のポイントっていうのはあるんですけども、ダイビングに来るお客さんにとっては、こういった真っ白い砂地は、明るい海の海底が反射板のようになりますので、岩場のポイントよりも明るくて沖縄らしさを感じることができるのでとても人気です。必要不可欠な現象になっています。

その隣の写真は複雑な地形。迷路のような場所があったり、ライトがないと見えないような奥行きのある穴だったり、ところどころ光のシャワーがふあーっと降り注ぐような場所があったり、いろんな地形を楽しむことができるのも魅力だと思います。

下の写真は魚影の濃さ、魚の群とかとても凄く沢山見れるところもあります。特に県魚でもあるグルクンや他の大きな魚の群れとかを見ることができるポイントもあるというのも魅力の 1 つということです。

他に多彩な生物層、それから高い透明度などが挙げられますけれども、これら全て石垣島から船を出して楽しめる、まさになんでもある海ということで、お客様からすると何度来ても何日潜っても飽きがこないんですね。この飽きさせない海が魅力の大部分を占めていると思われま

す。あと、こんなことも挙げられます。八重山ではご存じの通り、季節によって主な風向きが変わるんですけど、季節風というものですね。

冬は北寄りの風、夏は南風、春と秋は東風が吹きやすいです。風向きによって安全にダイビングできる場所が変わってきます。我々としては、ポイントを選ぶ際の最も重要な事項に挙げられますけども、竹富島とか黒島、小浜など、各離島や浅い海に囲まれているという特性から、どの風向きであろうが、風が強かろうが、何処かしらでダイビングができます。

これは欠航が少ないということです。ダイビングをされるお客様にとって喜ばれる理由の 1 つになっていると思います。では、先ほど紹介したバリエーション、生物に関して深堀させていただきます。

カラフルでいろんな生物が住んでいます。

圧倒的生物層！ということで、石垣島ではマンタなどの大物と呼ばれる生物から裸眼では見にくいほど小さい生物まで、幅広い生物層が魅力です。国内では八重山でしか見られない生物も実は多いです。

水中環境が揃っているということは、環境によって住んでいる生物の種類はガラッと変わります。水中環境が幅広いということは、生物の種類も幅広いということが分かります。そして種類はもちろん、そもそも生息しているパツと見の数が多いのが石垣をはじめとした八重山の海の魅力になります。例えば、お隣の宮古島と比較してみましょ

う。宮古島は透明度が良くて地形は面白いけど生物は少ないということをよく聞くのですが、それにはちゃんと理由があります。

圧倒的生物層っていうのは、山と川が支えています。宮古島には標高の高い山、大規模な川がないです。山と川があることで多少の濁りが発生してしましますが、水中生物にとっては非常に良い環境であり、豊かな生物を維持しています。

水中生物の種類が多さ、数の多さは、この山と川があるかないかで大きく差が出てきてしまうんですね。沖縄県の離島の中で該当するのは石垣島と隣の西表島のみになっています。かなり恵まれた貴重な環境であることが分かっています。ありがとうございます。

次、最後になります。皆さんこの生物、分かりますか。

はい！マンタですね。マンタが見られるというので石垣島は有名になったと言っても過言ではないと思います。

その中でも1年中マンタが見られるということです。石垣島を含めた八重山の海で1年中マンタが見られるという素晴らしい環境が整っています。

ここに行けば高確率でマンタに会えるよという場所は八重山以外、沖縄県の中ではほとんどないんじゃないかなと思います。マンタは、ダイバーが海で出会いたい生物ランキングもいつも上位となっていますので、それだけでも石垣島が人気の理由が分かると思います。

動画があるので見てください。

この動画は、近年人気の高い白い砂で見られるマンタの映像です。マンタの大きさは大体平均して3m以上とかなり大きいですが、水中で見ると迫力がとても凄いです。他のマンタはどれも岩場で見られるのですが、日本の中では唯一ここだけが砂地で見られる場所じゃないかなと思っています。この岩にマンタを掃除するお魚がたくさん住んでいて、小さい魚がマンタの体にくっついて体についている虫を食べてくれます。

マンタがどのポイントで見られるか、大まかに表示してありますが、この中で赤点があるところでマンタが見られます。石垣島に関していうと、代表的なのが川平にある石崎と呼ばれているところになります。それからヨナラ水道といって、西表島と小浜島の間、ここ非常に流れが強いポイントなんですけども今の映像はこちらです。

それから、黒島の西側、それから新城島の東側、西表島の南側も結構多くあります。

これ以外でも見られる可能性が高いですが、今ここに表示されているところが確率が高いということになります。

これは時期がありまして、この黒島、新城島は南側の方にあるポイントっていうのは、夏はあまりいないです、冬の水温が低い時に見られます。

ユナラ水道と上の石崎のマンタスクランブルのポイントに関しては、1年中見られるかなということ。どの風が吹いても何処かしらでマンタが見られるという感じなので、これも1年中マンタを見られると言われていた理由になる

かなと思います。これら全てのポイントで今後も継続してマンタが見られるように、観察する際にいろんなルールを設けています。触らない、追いかけないはもちろんなんですけれども、泡を立てないとか、音を鳴らさない、停められる船の積数を制限するなど、いろんなルールを設定しています。

少し短かったかなと思いますが、まだたくさん話したいことがありましたけれども、今回はこの辺りで終わりにさせていただければと思います。

石垣島そして八重山の海の魅力、少し伝わったでしょうか。日本で一番素晴らしいこの海をこれからも後世に残すために我々は努力してまいりますので、八重山ダイビング教会を今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

またこれを機会に海の中に興味を持たれた方がいらっしやいましたら、ぜひ一度体験ダイビングでも構いませんので、その目で一度覗いていただけたら嬉しいです。

本日はご清聴ありがとうございました。

◆ デジター挨拶：大野利美知様（東京上野 RC）◆

皆さん、こんにちは。今、海の中の話をお伺いしましたが、私は明日から海の上の表面の方で上勢頭さん自慢の船で台湾に行きます。昨年も乗せてもらいましたが、乗りますと、中に入りキャビンの方に近づくとしっとりとした感じで凄くいいなと感じる船なんです。

台湾には去年も行きました。面白いことが起きました。

出航しました。GPSがすぐ故障します。台湾は何処だ！夜になりました。何回も行っていきますから、感を信じてあの辺だろう、この辺だろうっていうふうにして行ったんです。

そしたら、上勢頭さんの仲間から電話かかってきました。何処を走っているんだ？と言われて、基隆港まで3時間ぐらい走っていました。随分北の方に走っていて、そういう面白い経験してまいりまして、明日5日にここを出発します。

6日に基隆に着き、7日にレースの検査を受けます。

それから、8日に基隆島を1周します。これが第1レースです。9日にいよいよ基隆から今年は宮古島に行きます。

去年は石垣島、今年は宮古島、来年は石垣島と交代でやってるわけですね。それで9日は宮古島に向かってスタートをするわけでありまして、これがホームレースになります。

宮古島には多分10日の夕方ぐらいには着けますね。もちろん着順は今言うことできないですから、後で報告させてもらいたいと思っています。翌日の11日の11時まで

にタイムリミット、それを持ちまして12日に宮古島で琉球レースをやります、これが第3レース。その後、総合優勝の発表があります。個々の優勝もあるんですけど、総合レースの発表もありますので、皆さんにはぜひ上勢頭さんではなくて、私の口から報告に来たいと思うような成績を収めたいと決意している次第でございます。皆さん、応援よろしくお願ひいたします。ありがとうございました。

～ 例会風景 ～



新城貢会員
入会おめでとうございます。



竹内友哉様 卓話ありがとうございました。



本日のニコニコ: ★鹿沼 RC 高山英様・日向野博史様: 本日は宜しくお願ひ致します。

★宮城早人会長: 竹内様、今日は素晴らしい卓話ありがとうございました。新城貢さん、ご入会おめでとうございます。

★新里裕樹幹事: 2024-2025 年度、最後の月間となりました。残り 1 ヶ月も皆さまでどうぞよろしくお願い致します。

★今西敦之副会長: 体のリフォームを行いました。竹内様・田中様 本日の卓話よろしくお願ひします。

大野様・高山様・日向野様、ご来島いただきありがとうございます。新城さん、入会いただきよろしくお願ひ致します。

★上勢頭保氏: 新城氏の入会を歓迎と竹内氏の卓話に感謝!! 明日から第 21 回台琉友好親善国際ヨットレースに今年も大野さんと参加します。

★大田次男氏: 竹内会長 卓話ありがとうございました。★新垣精二氏: 新城社長 入会おめでとうございます。

◆BOX¥10,000(累計¥347,550 円) ◆1,002(累計¥42,954) 合計¥390,504

6月

黒島栄作氏 3日(火) 新城永一郎氏 10日(火) 前原博一氏 22日(日) 中山義隆氏 26日(木)

